

代表質問発言通告書

発言順位	5番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 6年 2月 15日

三島市議会議員 藤江 康儀 様

三島市議会議員 8番 石井 真人

質問事項及び具体的内容
令和6年度施政方針及び、過去最大となる450億7千万円となった「日本一幸せに暮らせる都市を目指す積極型予算」に対し、下記の通り伺う。
1 持続可能な財政運営について
(1) 大型事業（再開発、新庁舎、駅前ロータリー、長伏公園等）の整備による今後財政の歳入歳出予測、長期財政計画との整合性、財政の持続可能性及び南北自由通路の実現可能性は。
(2) 新たな財源として期待されるふるさと納税に関する来年度の戦略は。
2 基本目標1 安全・安心に暮らせるまち
(1) 能登半島地震を受けての本市の地震防災対策について見直すなどの改善点は。
3 基本目標2 健康で福祉が充実したまち
(1) こども家庭センター事業を新たに開始することで期待する効果は。
(2) 体育館の工事期間中に市民のスポーツ環境を維持継続するための取り組みは。
(3) 高齢者の外出支援のさらなる推進に向けた取り組みは。
4 基本目標3 未来につなぐ人材を育むまち
(1) 移住・子育て施策など、人口減少対策は示されているが、未来につなぐ人材を確保するための少子化対策は。
(2) 来日間もない外国人児童生徒が日本語や文化を学べる場にもなるため、不登校児童と外国人児童が共に学べる多文化共生の環境づくりができないか。
5 基本目標4 交流とにぎわいのあるまち
(1) 広域連携による観光戦略（インバウンド対策、伊豆ファン倶楽部の推進等）について
(2) 国のみどりの食糧システム戦略達成に向けて、有機農業の取得面積の割合を増加させることへの来年度の取り組みは。
(3) eスポーツをどのような形で活用し、関係人口創出を図ることを考えているか。
6 基本目標5 快適で暮らしやすいまち
(1) 駅前再開発事業の核となる広域健康交流拠点の医療施設の決定時期と、南田町広場に今後建設予定の新メディカルセンターとの医療連携をどのように考えるか。
(2) 大場地区の開発を推進するにあたって、地権者との合意形成をどのように進めていくのか。
(3) 介護分野や保育分野など地域公共交通以外の働き手不足をどのように解消していくのか。
7 基本目標6 共に創る持続的に発展するまち
(1) 市民・企業と協働によるウェルビーイングな三島の実現によって生み出される「日本一幸せに暮らせる都市」に相応しい未来の新庁舎とはどのようなものか。